NPO・行政・企業・地域の情報発信により、アイデアと出会いの機会を創ります。

ニュースレター　イデア

2014

5月号

つながり×ひろがる　　いちのせき市民活動センター

～もくじ～

2｜いちのせき市民活動センター活動紹介

3｜団体紹介~**一関地球温暖化対策地域協議会**~（一関）

4｜地域紹介~**大東町　但馬崎町内会**~（大東）

5｜企業紹介~**花と泉の公園　花泉観光開発株式会社**~（花泉）

6｜歩が行く~**お弁当のまんまや@手芸講座**~（千厩）

いちのせき市民活動センター

活動紹介

①市民活動相談支援
②情報発信・収集、啓発支援
③地域への参画支援
④話し合い支援
⑤他事業との連携
⑥地域協働体への組織づくり支援

いちのせき市民活動センターが、
行っている活動をご紹介いたします。

話し合い支援
田河津のこれからを語る会

ワークショップの様子

10年後の地域づくりに向け踏み出した第一歩

東山町田河津地区の地域づくりに関する意見交換を目的に行われた「田河津のこれからを語る会」は3月25日、田河津公民館で開催。20～70歳代の幅広い年代の方々が集まり、ワークショップ形式で地域の課題を共有。10年後の地域を予想し、私達が今からできることを考えました。

懇談後は、小野寺センター長から人口減少・少子高齢化について統計データを元に話題提供。「たった5年で地域は変わり、今できることが将来できなくなる時が来る。今後のため、今地域にある行事や会議、役割分担を皆で見直し、負担無く地域運営できるよう仕組みを再構築する必要があるのではないか」と提案。参加者同士の意見を共有し、今の地域を見つめ直す機会になりました。

協働の取組み
協働のまちづくり学習会

会場の様子

「協働のまちづくり学習会」で地域協働の在り方を考える

金沢公民館では、行政区長、集落公民館長等で構成される「地域づくり研修会」が視察研修等を通し地域の将来について話し合いを行っています。今回、地域づくり研修会及び地区内諸団体の関係者を対象とした「協働のまちづくり学習会」が開催され、センターが制作した紙芝居の上映、協働推進課から資料を基にした説明が行われ、協働について参加した住民23名の皆さん方による活発な意見交換が行われました。

話し合いの結果、今後、地区内の各組織団体会員を含めた会議を行い、意見を持ち寄ることで協働への理解を広げ、地域協働体設立のための準備会発足に向けた話し合いの場を設けることを全員で共有しました。

一年間の総括
平成25年度 外部評価委員会

評価委員会の様子

より良いセンターを目指して

当センターでは毎年他団体様のご協力をいただきながら、その年度の事業に対する外部評価委員会を開催しております。今年度は市民団体様の他に、地域協働体や民間企業様にも委員をお願いし、12名の評価委員から、平成25年度の当センター事業についての評価をいただきました。

この情報誌「ｉｄｅａ」に関しても、多くの率直なご意見、より良い紙面づくりへの前向きなアドバイスをいただき、さっそく反映していくべく、現在企画を練っている段階です。早ければ来月号から新たな紙面でお届けできる予定でおります。

その他にもたくさんのご意見、評価をいただきました。スタッフ全員で真摯に受け止め、今年度以降の活動にしっかりと活かして参ります。

一関地球温暖化対策地域協議会

団体紹介

左から、千田恭平さん、佐々木勝裕さん
千葉精一さん、徳谷喜久子さん

～基本情報～

◆会長：千田　恭平　さん
◆連絡先：〒021-0027 一関市竹山町 7-2
一関市役所生活環境課内
◆電話：0191-21-8342

地球温暖化の進行を抑えるため、「知る」ことを第一歩に。再生可能エネルギーの普及を促進します。

身近な所から地球温暖化問題に取り組む

砂漠化による熱帯雨林の減少、気温や海水温度の上昇、生態系の変化等を引き起こす原因となっている温暖化。昨年、国内で猛威を振るった大雨や大雪、竜巻や台風の頻発も温暖化の影響と言われ、地球温暖化は私達の身近な課題として、世間の関心を強めています。

一関地球温暖化対策地域協議会は、地球温暖化を市民が協力し早々に取り組むべき深刻な課題と考え、会員が相互に連携しながら温暖化の防止に関する取り組みを行うことを目的に、平成17年に設立。同協議会は、個人会員81名、企業・団体会員25団体で組織し、毎年、環境講演会や学習会、温暖化の原因となる二酸化炭素を出さない自然エネルギーの見学会、広報「ｅｃｏ（エコ）」を発行し、会員や市民の意識向上に努めています。

太陽光発電の普及を目指して

平成24年からは、太陽光発電の普及を目的に「『太陽光発電』生の声を聞く会」を市内4地域（花泉・千厩・一関・大東）で開催。地域内で太陽光パネルを設置している世帯の詳細（設置年、容量、発電量、自家消費量等）を事前調査し、その結果を報告。併せて、太陽光パネル導入者から導入成功例と失敗例を学び、参加者と共有・意見交換を行いました。

最初の花泉での事前調査は、知人の情報を手掛かりに、太陽光パネルを設置しているお宅を1軒ずつ自分の足で歩いて調査。さらに、調査書の書き方がわからない方にはモニターを確認しながら記入を手伝うなど、「調査にはかなりの時間を費やしました」と事務局長の佐々木さんは話します。

また、この活動を今年2月に東京都で行われた「低炭素杯２０１４」で発表。この大会は、次世代に向けた低炭素社会の構築を目指し、全国各地で活動している学校・有志・ＮＰＯ・企業等の方々が活動発表することで、お互いの交流や連携、学習することを目的に開催。全国１６２０団体中、厳選された41団体が活動発表し、同協議会は見事「最優秀家庭エコ活動賞」を受賞。佐々木さんは「一番受賞したかった賞です」と喜びを語りました。

地球温暖化防止のために私達ができること

今後は、太陽光発電の普及活動を継続すると共に、市民発電所の設置を支援していきます。

加えて、一関市は森林面積が広いことから薪ストーブの推進も考えていましたが、福島県の原発事故により、薪を燃やした時の灰の放射能値が高くためらいもあります。

この他、断熱・機密性に優れた「三重ガラス」や「パッシブハウス」の効用を広める等、「温暖化防止のために、自分達ができることを一つひとつ地道に取り組んでいきたい」と、事務局の千葉さんは抱負を語ってくれました。

再生可能エネルギー講演会を開催

◆日時　5月11日（日）15時～
◆会場　一関公民館　大会議室（なのはなプラザ　3階）
◆内容　地域のエネルギー需要を地域の再生可能エネルギーで供給する『エネルギー「永続地帯」一関をめざして』
◆講師　千葉大学大学院　教授　倉阪秀史　氏
◆問い合わせ先　生活環境課　21-8342

一関市大東町　但馬崎町内会

地域紹介

後藤　健助さん

～基本情報～

◆町内会長：後藤　健助　さん（2 期 3 年目）

◆大東地域摺沢地区で、96 世帯 253 人が暮らす但馬崎町内会では、自治会加入率 100%。「お～いみんなぁ～あつまれ」の集いを年に一度開催し老若男女が交流できる町内会イベントを実施し、住民の交流を深めています。交通量が多い地域ですが、事故がないことが誇りです。

行政頼りにせず、自分たちのことは自分たちで つくりあげてきた地域の絆

地域を知るきっかけ

歴史ある今泉街道（藩政時代、奥州街道山目宿から東に分岐した仙台藩領の脇住還で笹ノ田峠を越え、今泉[陸前高田市]に至る主要な街道）を囲み、家庭菜園用の畑はあるものの、大きな田畑は少なく、市営住宅や貸家も多い住宅街の但馬崎町内会は、摺沢地区内を流れる砂鉄川に架かる3つの橋が、隣接自治会との境の目印となっています。

後藤さんは転勤族で、娘さんが中学生になったことを機に故郷に家を建て、単身赴任を続けました。「43年ぶりに地元に帰ってきたときは、自治会という組織がよくわからなかった。総会で推薦され、町内会長に決まった時は、頭が真っ白になったよ。でも、町内会には、家族もお世話になったし、『少しでも役に立つのであれば』という気持で引き受けた。今では、地域のことが少しずつ分かってきた気がするよ」と、振り返り「自治会の加入率も１００％で総会も住民の約６割の方が参加し、自治会を運営するうえで、世帯数や班数は適当な規模だと思う」と、地域の状況をよく把握していました。

但馬崎町内会の組織体制

同町内会組織は、副会長が２名おり、総務担当と経理担当に分担されています。理事は各班から一名の推薦。但馬崎体育部と環境衛生部、生涯学習部と納税部の４つの部があるほか、但馬崎祭り等実行委員会と但馬崎地区自主防災会があります。

「どの部も部長を中心として、積極的に話し合いが行われ、地域住民が楽しく交流活動ができるよう企画し、開催しています」と、話す後藤さん。活動の拠点は、平成５年に建てられた但馬崎会館です。

生涯学習部では、毎年会館を使用して秋に町内会の文化祭を実施。文化祭の活動内容は、地域住民にアンケートをとり、みんなで作り上げています。文化祭の同日に講演会も企画しており、昨年はＳＡＶＥ　ＴＡＫＡＴＡの岡本啓子さんを講師に迎え、震災時のお話や、復興へ向けての講話をしていただきました。

「お～いみんなぁ～あつまれ」

同町内会では、年明けに但馬崎体育部・生涯学習部と青空子ども会（但馬崎町内会と観音堂自治会の児童が参加）主催で「お～いみんなぁ～あつまれ」の集いを開催しています。当日は、地域の企業（エヴァホール青柳様）がホールの無料提供を行い、参加者は家庭で使用しない不用品を景品として持ち込みます。持ち込まれた不用品は、オークションや福引の景品として必要としている方の手元に渡るシステムとなっています。じゃんけん大会やビンゴ大会の担当は子ども会が中心となり会場を盛り上げ、人生の先輩方によるコーラスや住民による余興も行われ、新春を住民が一緒になって祝います。このイベントは平成14年から開催され、昨年は大東町摺沢地区の自治会リーダー研修会で活発な活動事例として紹介されました。今年3月には、この活動を体験してみようという声が高まり、第2回リーダー研修会と称し「不用品が縁で人集め」を開催。摺沢地区の模範自治会活動として多くの方々が体験したのです。

最後に、後藤さんは「これから少子高齢化が進み参加者が少なくなるのでは?と不安にも思うが、自治会としての支援対策を考えながら、住民の顔と顔が見える地域づくりをしていきたい」と語りました。

花と泉の公園　花泉観光開発株式会社

企業紹介

代表取締役
佐々木　政典さん

～基本情報～

◆代表取締役：佐々木　政典さん
◆住所：〒029-3103
一関市花泉町老松字下宮沢 159-1
◆ＴＥＬ：0191-82-4066
◆ＦＡＸ：0191-36-1215
◆ＨＰ：http://www.hanatoizumi.jp/

発想の転換　施設から交流の空間へ

行政運営から民間経営へ

一関市花泉町の旧町名に重ね、四季折々の花に彩られ、憩いと交流が得られるようにと、町の活性化を願って整備された「花と泉の公園」は、平成7年「ぼたん園」のオープンを機に、平成11年から第三セクターとして運営され、平成12年にはベコニアガーデン「れいなdeふろ～れす」オープン。

大型の温室を利用して多種多様の花々が通年鑑賞でき、交流プラザ内のレストラン、産直売店、フラワークラフト体験コーナーなどがあり、地域とのふれあいの場になることを願い運営されてきました。

当初は地域資源として、集客率もよく、その壮大な敷地と、見事な花々が地域の方々に限らず県内外のお客様を魅了。しかし、「一度来たら（見たら）、後は来ない・・・」リピーターの集客が見込まれず、次第に経営は難航していったのです。

指定管理となった平成18年、初の民間経営者が就任。現代表取締役の佐々木さんです。佐々木さんの前職は旅行会社勤務。国内のさまざまな観光施設を見て回り、地域と施設の関わり方、お客様が何に感動を得るのか、心を掴む施設経営を実際に目の当たりにしていたことが目に止まり、代表取締役に就任しました。花泉町の出身で地域への恩返しを考えていた佐々木さんは自分の経験をもとに試行錯誤を重ね、従業員16名と共に一丸となって「新しいことへの挑戦」を続けています。

市民の集う空間を目指して

代表取締役就任当初、「東京ディズニーランドには、なぜリピーターが多いのか？」と考えた佐々木さん。「修学旅行の引率で何度もディズニーランドに行くのですが、『訪れるたびに新しい発見がある』ということに気づいたのです。通年全く同じことをしては、地域の方々も飽きてしまう・・・できるだけ地域の方々が誇れる施設にしたい」そう感じ「イベント（祭り）だけの施設ではダメなんだ」と、日頃から地域の方々が集えるような施設にするべく、女性スタッフの目線で施設レイアウトやディスプレイを工夫。敷地内には、見よう見まねで制作したピザ窯を、地域の子ども会行事にいつでも使ってもらえるように、体験型の導入を試みました。「出来る限り地域の方が使用しやすい『花と泉の公園』にしたい」その思いは変わることなく、地域とのつながりをますます根付かせるための、施設利用提供を日々心がけているのです。

花・泉・出会い（でっかい愛）

平成21年「花と泉の公園」で初めての結婚披露宴が開催されました。同公園では、結婚式が開催されたことはありましたが、披露宴は初。同公園の中庭にバージンロードをユリで演出。地元、花泉町民合唱団が結婚式進行を務め、素敵なコーラスで二人の門出を祝いました。

花々に囲まれた新郎新婦の幸せな表情は今でもスタッフたちの心の支えになっているとのこと。

「結婚を決めたお二人が、少しでも多くこの地元の公園で披露宴を挙げていただけると、私達が丹精込めて育てた花々も大変喜びます。相談はいつでも受け入れていますので、サプライズな挙式・披露宴をお二人の力で挙げたいとお考えの方々に最大のご協力をさせていただきたい」と語る、佐々木さんの表情は、地元を広く発信しながらも、最大限に地域の方々に使用して頂く方法を考えている姿勢が伺える取材でした。

◆◆◆◆センタースタッフの体験レポートです◆◆◆◆

歩（あゆみ）が行く

◆今回はまちなか教室【お弁当のまんまや@手芸講座】に参加してきました◆

❹

❸

❷

❺

❻

❶

❶3月24日、千厩町の「お弁当のまんまや」を会場に、ミニ講座が開催されました。講師は、まんまやスタッフの及川さんです。

❷ミニ講座には千厩町内・藤沢町内の方が参加。予約開始の2月末には、あっという間に募集定員に達したとのこと。（定員6名）

❸参加者は主婦が多く、初対面ながら会話が弾む和気あいあいとした雰囲気。私は手先が器用ではないので、マスコット作製に使用する小さなパーツの取り扱いに悪戦苦闘。

❹なんのマスコットを作成しているかというと・・・次の写真でわかると思いますが、個々にマスコットの服の色や柄、リボン（花）が違うんです！

❺ジャジャーン！！答えは「キティちゃん」です♪目や、鼻の位置で一人一人仕上がりが違うんですよね。私のは、なんだか悩んでいるキティちゃんのようです・・・

❻マスコット作り終了後は、まんまや代表の棚橋さんから「みじかな野菜で健康食」と題し野菜から得られる栄養について学びました。私は、「食べ合わせでより効果が得られる」という項目に注目！『トマト＋じゃがいも』で老化防止に取り組みたいと思います♪

■ 私のまちの、素敵なミニ講座

第1回まちなか教室（一関市元気な地域づくり事業）は千厩新町から東栄町までの各専門店12店舗を会場に3月7日～31日の期間開催されました。このまちなかは毎年4月から10月の第2土曜日に「千厩夜市」を開催していることでご存知の方も多いと思いますが、今回は新しいお店から老舗までの各店スタッフが講師となり、とっておきのワザや知識を伝授しました。

講座内容は店舗によって様々。例えば新町のポーラ化粧品エステティシャン千満のハンドマッサージ体験、本町では伊惣商店の奥様が講師となり、名古屋帯をつけ帯にリメークする講習、東栄町のきたむらではEM講座と題し、米のとぎ汁を使用したEM発酵液の作り方を伝授。どの講座も定員を充たし、それぞれ学び多き時間となったようです。

私は、前回取材させていただいた「お弁当のまんまや」の手芸講座に潜入してきました。講師を務めたのは、手先の器用な及川仁子さん。短時間の講座の中で『どうすればみんなが作品を仕上げられるだろう？』と、準備に試行錯誤しながらも、参加者が楽しそうに作業している姿や、出来上がった時の満足そうな表情を見て「参加者の方々に喜んでもらえてほっとしました。」と振り返ります。小さなパーツをつまむときはピンセットを使用することや、上手にボンドを使用することで時短になることを学び、なによりも美的センスが必要だなと感じました。

今回作成したマスコット（キティちゃん）は、娘たちに大人気だったので、今度は子どもたちと作ってみたいと思います。

◆皆様へ　「歩が行く」は、紙面リニューアルのため今月を最終回とさせていただきます。長らくご愛読いただき、どうもありがとうございました！

イベント ボランティア 情報コーナー

花と泉の公園　ぼたん祭り

花と泉の公園では、ぼたんとしゃくやくが開花期を迎える５月から６月上旬にぼたん祭りを開催します。期間中は「野の花の絵展」「布細工作品展」「もちバイキング」等も行われ、５月 24 日は熱気球一関･平泉号の体験搭乗会も開催します。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】平成 26 年５月 10 日(土)～6 月 1 日(日)
【場所】花と泉の公園
【料金】入園料　ベゴニア館 800 円
　　ぼたん園 500 円　共通券 1,000 円
【問合せ】花泉観光開発株式会社
【電話】0191-82-4066

砂鉄川の空に泳ぐこいのぼり ～登竜門祭り(出世祈願祭)～

東山猊鼻渓では、子供達の「挑戦」「負けたくない」という向上心を培うことを目的に登竜門祭りを開催します。期間中は、園児達が和紙に描いた鯉のぼりが空を泳ぎ、５月５日は乗船した小学生に絵馬をプレゼントします（先着 100 名様）。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】平成 26 年４月 25 日（金）
　　～5 月 6 日（火）
【場所】東山　猊鼻渓
【料金】一般舟代　1,600 円
【問合せ】（有）げいび観光センター
【電話】0191-47-2341

千の音色でつなぐ絆 in 千厩

東日本大震災で発生した津波の流木から作られた「津波ヴァイオリン」を、追悼の想いと復興への願いを音色にのせ、引きつなぐプロジェクトです。演奏者に千葉裕之さん、佐藤有希さん、千葉祐佳さんを迎え、数々の名曲をお届けします。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】平成 26 年５月 11 日（日）
　　午後１時 30 分　開演
【場所】ル・アンジュ（千厩警察署隣り）
【料金】1,000 円（小学生以下無料）
【問合せ】千の音色でつなぐ絆 in 千厩実行委員会
【電話】090-9635-5820

第 46 回　子どもの森

子ども達が、昔遊びを通して触れ合う「子どもの森」を開催します。市内の小学生、障がいを持つ子ども達が一緒に遊び、交流を深めます。遊具の準備や子ども達の遊び相手をしてくれるボランティア（事前申込必要）も募集しています。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】平成 26 年５月 11 日（日）
　　午前 10 時～午後２時
【場所】山目公民館
【料金】無料
【問合せ】山目公民館
【電話】0191-21-2104

不登校の子をもつ親のシンポジウム in 一関 わが子の不登校とどうかかわってきたか

「学校に行きたくないと言って動かない」「引きこもって外に出ない」等、悩み事を話し合い、親同市が支え合い学び合うことが力になると一関で親の会の活動を続行けてきました。５月に活動の一周年を期してシンポジウムを開催します。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】平成 26 年５月 11 日（日）
　　午前１時 30 分～午後４時 30 分
【場所】一関文化センター１階展示室
【料金】500 円
【問合せ】特定非営利活動法人東京シューレ
【電話】03-5993-3135/FAX：03-5993-3137

室根山つつじまつり

室根山には、20 万本ものツツジが自生しており、車道周辺や山頂を中心に赤い花が美しく咲き誇ります。山頂からは太平洋や奥州山脈を一望できます。期間中は室根山スカイスポーツ大会や郷土芸能、イベントも開催されます。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】平成 26 年５月 31 日（土）
　　～6 月 15 日（日）
【場所】室根町折壁　室根山
【問合せ】一関市室根支所　産業経済課
【電話】0191-64-3806

一関市管内で活動している地域団体のボランティア等募集です。詳細等はお問い合わせ先にご確認ください。

発明クラブ指導員

一関市少年少女発明クラブでは、少年少女に対する〝ものづくり〟の指導をしてくれる有償ボランティアを募集しています。お気軽にお問い合わせください。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】毎月２回程度（土日）
　　１回／２時間程度
【場所】発明クラブ教室、一関公民館、
　　真柴コミュニティセンター
【報酬】２時間で 1,000 円ほど
【問合せ】一関市少年少女発明クラブ
　　事務局　千葉　邦夫
【電話】0191-26-4928

お弁当屋さんのボランティア

ＮＰＯ法人ワークハウス雲では、同法人が運営する「雲の弁当屋」の簡単な調理やお弁当の配達を手伝ってくれるボランティアを募集しています。お気軽にお問い合わせください。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】毎週火曜日・金曜日
　　午前 10 時～午後１時
【場所】雲の弁当屋とその周辺
【報酬】交通費（要相談）
【問合せ】ＮＰＯ法人ワークハウス雲
　　担当　渡邉　知子
【電話】090-7073-4985

いちのせき市民活動センター

センターの連絡先はこちら

住所：一関市大町 4-29
なのはなプラザ4F
電話：0191-26-6400
FAX：0191-26-6415
営業時間：朝9時～夜6時
休館日：日・祝
スタッフ：6名

ホームページ：http://www.center-i.org/

せんまやサテライト

サテライトの連絡先はこちら

住所：千厩町千厩字町 149
電話：0191-48-3735
FAX：0191-48-3736
営業時間：朝9時～夜6時
休館日：日・祝
スタッフ：3名

メール：center-i@tempo.ocn.ne.jp

ＦＭあすも

小野寺センター長出演の「人そだて地域そだて」のコーナー（水曜日 11 時半～）の一部を紹介します。

◆4月２日放送「協働のまちづくり」

４月１日から一関市の協働推進計画の施策が始まります。「協働」はわかりにくい言葉ですが、地域づくりの原点だと思います。今までは、行政からの提案で事業を行い、何かあれば住民から行政に要望してきました。しかしこれからは、市民が描く地域計画に沿い、行政・NPO・企業が支援するというあり方に変わるのではないでしょうか。いちのせき市民活動センターでは、各地域の動きに合わせた支援を行ってまいりますので、よろしくお願いします。

お知らせ

◆情報誌 idea の一部リニューアルについて

毎月発行している情報紙 idea は、６月号から記事の内容とデザインを一部変更します。２ページ目には新たに企画ページを入れ、対談や講座の様子を大きくご紹介する予定です。

idea の担当スタッフは、皆様により多くの情報を、読みやすい形でご提供できるよう日々改善していきたいと思っています。idea に関する意見や要望等あれば、いちのせき市民活動センターまでお気軽にお問合せください。

5月のまちのお知らせ

1	砂鉄川に泳ぐこいのぼり・登竜門祭り（東山）～5 月 6 日、桜のボンボリ点灯（一関）～5 月 6 日、磐井川鯉のぼり川渡し（一関）～5 月 9 日	16	
2		17	
3	岩手県南・宮城県北神楽大会（一関） いちのせき賑わい「ど市」(一関)	18	栗駒山開き安全祈願祭（厳美） せんまや気仙街道まつり（千厩）
4		19	
5		20	
6	復興応援被災地との絆祭り（東山）	21	
7		22	
8		23	
9		24	
10	せんまや夜市（千厩）、花と泉の公園ぼたん祭り（花泉）～６月１日まで	25	
11	千の音色でつなぐ絆 in 千厩（千厩）第 46 回子どもの森（一関）不登校の子をもつ親のシンポジウム（一関）、再生可能エネルギー講演会（一関）	26	
12		27	
13		28	
14		29	
15		30	
		31	室根山つつじまつり（室根）～6 月 15 日

今月の表紙

この写真は、最近完成したばかりの館ヶ森アーク牧場のツリーハウスです。名称は市民から募集し、採用された名称は秋にホームページまたは定期発行紙「たてがもり秋」で発表されます。

編集後記

ぽかぽかと暖かい春の陽気になり、市内の桜が見頃を迎えました。一関大町の商店街は人通りが増え、賑やかさが増しています。近くを通りかかった際は、センターやサテライトにお気軽にお立ち寄りください。

Q&A

あなたの「知りたい」に、担当スタッフが答えます。

Q1　ＮＰＯって何ですか？

A1　ＮＰＯ（市民活動団体）は「会をつくって、皆でお金を集めて、皆が喜ぶことをする」のがＮＰＯ活動の基本です。子育てサークルやボランティアの会など、「～会」というのがたくさんありますが、そのような市民の団体はみんなＮＰＯであり、「市民活動団体」ということになります。